

創刊号

市民・事業者・行政が協働し、環境保全都市を実現する

ひらかた環境ネットワーク会議会報

ネットワーク会議ついに始動



パネルディスカッションの様子

3者協働で環境問題に取り組む

枚方を環境保全都市にするために、市民・事業者・行政の3者が協働する「ひらかた環境ネットワーク会議」が、2月15日に設立されました。同日、ラポールひらかたで開催した設立総会と記念シンポジウム（写真上）には、150人以上の市民・事業者が参加し、大盛況の船出となりました。

今回の巻頭特集は、設立総会と記念シンポジウムについてレポートします。

目次

設立総会開催	2
運営委員会 & 各部会の活動	4
運営委員紹介	6
お知らせ	7
団体紹介	8

3者が力合わせ 環境保全都市へ

設立総会&記念シンポジウム開催

設立 総 会

会則案など拍手で承認

運営委員会では5部会の設置が承認

「ひらかた環境ネットワーク会議」の設立総会を2月15日午後0時30分から、ラポールひらかた4階大研修室で開催しました。

発起人のひとりである中司宏枚方市長の「市民・事業者の方と協力しながら環境施策を進めていきたい」との挨拶から始まり、来賓の挨拶、谷崎利男準備会会長による設立準備経過報告が行われました。

その後、議長に山本光夫さん、書記に稲森郁子さんを選出し、会員数123人中、出席109人（うち委任状24人）で、総会の成立が確認されました。



150名以上の参加者で大盛況の会場

参加者の声 具体的活動に期待寄せる参加者

それぞれの参加者から熱い想いを感じる。しかし具体的に何が出来るかが大事。これから皆さんと一緒に何が出来るか考えていきたい。

人と人の繋がりが希薄になっている。子どもたちが安心して暮らせる街にしていきたい。



山本議長の進行のもと、審議が行われました

議案の審議では、第一号議案・会則案、第二号議案・運営委員案が準備会から提案され、会員多数の拍手で承認されました。

その後一旦休憩となり、別室で第1回運営委員会が開催されました。そこで会長に谷崎利男さん、副会長に堀田修平さん、丸井晶子さんが全会一致で選出されました。また自然環境、ごみ・エネルギー、公共交通、まちづくり、環境教育サポートの5部会の設置も承認されました。

総会再開後、運営委員会で選出された会長、副会長が拍手で承認されました。引き続き第三号議案・平成15、16年度の事業計画案、第四号議案・平成15、16年度予算案も会員多数の拍手で承認され、設立総会は無事閉会しました。



ご挨拶

会長 谷崎 利男

「ひらかた環境ネットワーク会議」が約1年の準備を経て2月15日に正式に発足致しました。

本誌でご紹介していますように、この会議は、市民・事業者・行政の3者が協働して会議を進めてゆくのが特徴です。当面は5つの部会でスタートしますが、枚方市を環境先進都市にするための活動に参加を希望する市民や、すでに活動している団体、さらに新設の団体などの参加を期待しています。出来るだけ多くの皆さんと話し合い、知恵を出し合い、ワイワイ・ガヤガヤと活動を続けていく。その中からひとつでも多くの活動が枚方市に根付くよう共に考え、支援してゆきたいと思います。皆さんの積極的参加とご支援をお願い致します。

市民の力が生きるまちづくりを

市民一人ひとりが“こういう環境保全都市を目指している”と言えることが大事

基調講演 ひらかた環境ネットワーク会議に期待する

植田和弘さん（京都大学教授）

地域やコミュニティは、これを担う良い人・良い町・良い組織があって、環境保全都市が成り立つ。郊外までは車で来て、路面電車に乗り換え、市の中心部はまったく車をなくす、この方が商店街も活性化する。ごみの問題でも、再使用やリサイクルが、作るときから生活の中に入っている循環型社会や、交通対策も合わせた、政策の統合化が必要。体験の積み重ねが信頼となり、ネットワークで参加の場づくりをし、互いの議論を通じて、良い枚方を作ろうという信頼関係ができ、地域のパフォーマンスが変わる。地域・コミュニティが力を持つと、文化的快適さとは何かを見直し、新しい生活スタイルを作り出す。それが枚方の新しい伝統となる。ネットワークの創造性（町づくり）が必要で“こういう環境保全都市を目指している”ということ、市民が言えることが大事で、ひらかた環境ネットワーク会議に期待したいと思う。

（ご報告：植田和弘氏には引き続き、当会議の「顧問」としてアドバイスをいただくことになりました。）



手振りを交えながら講演をされる植田教授

パネルディスカッション

市民
事業者
行政

3者が熱い想いを披露

パネルディスカッションで、ネットワーク会議に対する期待を熱く語る



植田教授の講演を受けて「ひらかた環境ネットワーク会議に期待すること」というテーマでパネルディスカッションを開催しました。150名以上の方が参加し、会場からも意見や質問が出るなど活気あふれたものとなりました。以下が各パネリストの発言要旨です。

コーディネーター
植田和弘（京都大学教授）
パネリスト
中司宏（枚方市長）谷崎利男（会長）丸井晶子（副会長）
三好國司（司電気産業株）
新開悦子（とよなか市民環境会議アジェンダ21）

3者の違いを理解し特徴を生かす 谷崎会長

行政がボランティアとして参加すれば、何の予算も権限も持たない一市民となってしまう、行政としての特徴が生かせなくなる。市民・事業者・行政それぞれに制約があることを、お互いに理解することがキーワード。

市民の決意あれば環境は良くなる 丸井副会長

信頼・規範・ネットワークは、長いスパンの中で作

っていくもの。企業はコストという目的意識があるが、市民の場合は何が何でも枚方の環境を良くするという決意さえあれば前進する。

事業者も環境への配慮が必要

三好さん

事業者の環境への関わりは、安全な商品を安く提供することだけでなく、商品の処分方法まで考えること。私の会社は、全壁面に太陽電池パネルを張り付け、CO₂の年間排出量を引き下げるなどの社会貢献につながる努力をしている。

時間をかけて信頼関係を築く

新開さん

パートナーシップを築くには時間がかかる。豊中市でもどのような活動をしていくのか、数か月間議論した。大事なものは信頼しあうことだが、それには時間とエネルギーが必要。学校給食の残飯や公園・街路樹のせん定枝をたい肥化する事業を市民が行うことで、市との信頼関係を築くことができた。

一人ひとりの意識の変化が大事

中司市長

枚方市を全国一の環境保全都市にしたいとの想いで、環境行政に取り組んできた。このネットワーク会議に多くの市民が参加し、一人ひとりの意識がどう変わっていくのかを大切にしていきたい。

プロセス自体に大きな意味がある

植田教授

今日のテーマにふさわしいシンポジウムが出来たと思う。目に見える成果だけでなく、ネットワークを作っていくプロセス自体に大きな意味がある。活動に主体的に関わる人が増えていくことも大きな成果だ。

5部会が活発に活動を開始

自然環境部会

枚方市の環境政策を知るために
まず学習からスタート！

第1回の自然環境部会を3月7日に開催しました。参加者の熱い思い一杯の意見交流となり、その中から次回に向けての課題が見えてきました。

いろいろ課題はありますが、まずはそれらを取り上げる前に、枚方市の環境政策を知ることが第一歩ではないかということで、学習からスタートすることになりました。

これをベースに今後に向け意欲的に取りくんでいけそうです。

今後のミーティング予定

日時：4月10日(土) 午後1時~同4時

場所：メセナひらかた4階 特別会議室

・学習会開催

テーマ：「枚方市の環境政策を知ろう」

講師：市担当職員

・意見交流

・その他

ごみ・エネルギー部会

ごみを減らそう！
エネルギーを節約しよう！
再生可能エネルギーを活用しよう！

地球温暖化防止や循環型社会形成への「わがまちひらかた」での取り組みを、まず身近な個人・地域社会レベルから部会員で共有するため、行政・事業者・市民団体・グループ・個人のそれぞれの取り組みや思いを披露し、意見交換をしています。

環境ネットワーク会議設立後、3回部会ミーティ

ングを実施しました。毎回時間を忘れるほど盛り上がっています。「ああ、そういうことだったのか」、「そんな考え方もあるのか」、「そんな生き方もあるのか」、「そんなに楽しいこともあるんだ」、「そんなに苦労しているんだ」、「そんな問題もあるんだ」...などなど、今は新しい発見がいっぱいです。

身近なごみ、エネルギーを通して、世の中を一緒に見ていきませんか。老若男女、各界、各域から広く部会員を募集しています。

今後のミーティング予定

日時：4月16日(金) 午後7時~同9時

場所：ラポールひらかた2階 集会室

公共交通部会

「河川敷を利用した自転車道とレンタサイクルシステム」等をテーマに活動

公共交通部会は環境への負荷の少ない交通体系の整備とその利用促進を推進するという目的で発足しました。

2月15日のネットワーク会議設立時に持たれたミーティングに続き、3月15日に第2回ミーティングを持ちました。現在、部会員は14名です。

今後は3週間に1回の予定で、ミーティングやフ

ィールドワークを行います。

(取り上げるテーマ)

・枚方の交通システム全般について

・コミュニティバスを含むバス路線システム

・自転車道網とレンタサイクルシステム

・その他部会員よりデータ提供される事例の研究

今後のセミナー予定

日時：4月26日(月)、午後7時~同9時

場所：ラポールひらかた3階 研修室2

議題：枚方の交通システムについて(7頁参照)